

CEFR-J レベル

A1.2

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり（何ができるかできないかや色についてのやりとりなど）において単純に応答することができる。

⇒基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり（何ができるかできないか）において単純に応答することができる。

タスク：

内容：自分のできることについての質問に答える。質問するという言語機能は試す必要はない（質問を生徒からさせる必要はない）。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

先生はあなたのクラスの留学生です。あなたと友達になりたいので、スポーツや趣味など、一緒にできそうなことを聞いてきます。質問に答えて仲良くなりましょう。

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ すぐに始める。ストップウォッチで1分半測る。

④ 教員は質問を4つすることを目標とする。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確認するために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 話の途中でも、1分後半に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

（アウトプット）テキスト1：この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: Hi. My name is Kathy. What's your name?

生徒: My name is Tomomi. （これは数に入れない）

教員: I like sports. Do you play any sports? (A1.1.2 の趣味に答えるタスクで、スポーツの話をしていたら、別な質問をする。例：Do you read any comic books? Do you listen to music?)

生徒: No. I don't like sports. （1 個目 OK）

教員: I want to do something with you and become friends!

生徒: I play computer games. （自発的に話している）

教員: Hmm, I have never tried them.

生徒: It's interesting. （自発的に話している）

教員: Really? How can I start?

生徒: I will teach you. (2 個目 OK)

教員: Thanks! Which game do you like?

生徒: I like role play game. (3 個目 OK)

教員: How long do you play it in a day?

生徒: I play it for three hours. (4 個目 OK)

教員: Wow. Thank you. This is the end of the task.

(4 つの質問のうちすべてに答え、受け身でなく自分から文で話しているため、評点 3)

(アウトプット) テキスト 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: Hi. My name is Kathy. What's your name?

生徒: My name is Tomomi.

教員: I like sports. Do you play any sports?

生徒: No. (1 個目 OK)

教員: What do you like to do in your free time?

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: What do you like to do in your free time? (ゆっくりと言う)

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: What's your favorite TV program?

生徒: ... I like animal. (2 個目 OK)

教員: Animal? ... Wow. Thank you. This is the end of the task.

(4 つの質問に対して 2 つ答えているが、決まり文句しか言えていない (例: My name is... I like ...) ため、評点 1)

#### 開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) **第 2 期 (分析)**

#### メモ

##### 注意点:

- ・生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。
- ・質問を引き出す必要はないが、学生が自主的に質問してきても、止めずに、それに答えて会話を続ける。

##### 評価の目安:

- ・答えの中で、決まり文句だけでなく簡単な文が少しは言えるか確認。エラーがあっても、S+V の形のものが自然に 1 回でも作れたら評点 2。
- ・基本的に文で答え、必要最低限の答え以上の情報を付け加えることができ评点 3。

開発担当者: 金子恵美子